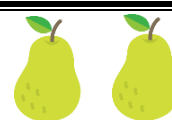


西洋なし栽培だより



《病害虫防除・摘果について》

1. 生育概況（山形県農業総合センター園芸研究所より）

品種	開花始期			満開期			落花期		
	R6	R7	平年	R6	R7	平年	R6	R7	平年
ラ・フランス	4/15	4/21	4/21	4/17	4/25	4/24	4/17	4/30	4/24
シルバーベル	4/16	4/23	4/23	4/19	4/27	4/26	4/19	4/27	4/26

2. 病害虫防除について【5月下旬】

散布時期	適用病害虫	薬剤名	濃度	収穫前 使用日数	総使用 回数
5月下旬		1.展着剤（アピオン-E）	1,000 倍		
	胴 枯 病	2.オキシラン水和剤	500 倍	3 日前まで	9 回以内
	黒 星 病 赤 星 病	3.ダイアジノン水和剤 34（劇）	1,000 倍	14 日前まで	6 回以内
		4.バイカルティ	1,000 倍		

※オキシラン水和剤は、おうとう・もも・すもも・ぶどう・柿等へ飛散しないように注意する。

※この時期の薬剤散布は幹、ふとい枝まで十分にかかるように丁寧に散布する。

※品種や生育ステージによって薬害やさびの発生する可能性があるので乾きやすい時間帯に散布する。

※隣接園への飛散に十分注意して散布を行う。

散布時期	適用病害虫	薬剤名	濃度	収穫前 使用日数	総使用 回数
6月上旬	胴 枯 病	1.デランフロアブル（劇）	1,000 倍	60 日前まで	4 回以内
	黒 星 病 赤 星 病	2.テルスター水和剤	1,000 倍	前日まで	2 回以内
		3.バイカルティ	1,000 倍		

※デランフロアブルは、おうとう・すももへ登録がないため飛散しないように散布する。

※極早生品種のある園地では、デランフロアブルに替えて、トップジン M 水和剤 1,500 倍（前日まで、6 回以内）を散布してもよい。

※カイガラムシ類の発生の多い園地では、6 月上旬～中旬に発生状況を確認し、トランスフォームフロアブル 2,000 倍（前日まで、3 回以内）を散布する。

～葉面散布剤について～

樹勢の弱まっている樹へ下記葉面散布剤のいずれかの散布（薬剤へ加用可）をおすすめします。

葉面散布剤	希釈倍率	N・P・K	摘要
葉友	2,000 倍	5・0.1・0.5	植物生理活性 果実肥大
ビビッドグリーン	500 倍	7・6・4	樹勢強化 成葉化促進
マリンインパクト	1,000 倍	0.1・0・3.0	樹勢回復

3. 摘果について（16～18 玉を目指して）

1) 果そうについて

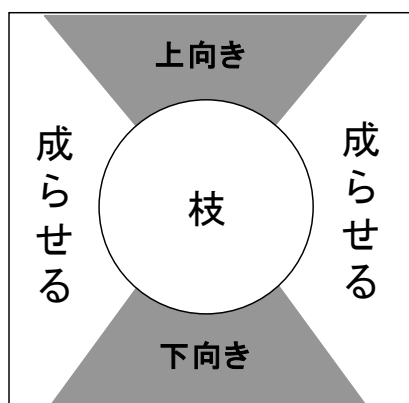
葉が大きく、枚数の多い果そうへ果実を残す

2) 残す果実

軸が長く、上向きで大きい果実

3) 着果管理の流れ

- ①予備摘果（5 月中旬頃まで）
- ②仕上げ摘果（6 月上旬頃まで）
- ③修正摘果（7 月下旬頃まで）



着果管理イメージ

軸が太く、肥大の良い果実を残す
（基部から数えて 2～4 番目の果実）

枝の左右へ着果させるイメージ

着果状況を確認して、予備摘果を 5 月中旬・仕上げ摘果を 6 月上旬頃まで
実施しましょう

JA さがえ西村山 営農指導課 西村山農業技術普及課

